



園だより 9月号

YMCA オリーブ保育園

2024年9月2日 発行

園長 矢野久美

今月のねがい

- *自分の思いが大切にされることを感じる。
- *夏の経験を通して遊びが広がる。

讚美歌

- *かみさまにかんしゃ

夏休みの企画として、今年も小学生ボランティアを募集しました。3年生から6年生まで総勢 23 人の卒園児たちの参加があり、賑やかな夏になりました。毎日のように来てくれるお兄さん、お姉さんにオリーブの子どもたちも目を輝かせていました。初めはお互いの緊張から始まりますが、そこは子ども同士。あっという間に溶け込んで、絵本を読んであげたり、レゴや LaQ でリクエストされた物を作ったり、水遊びも子どもたちと一緒に、びしょ濡れになりながら遊んでくれていました。

一緒に遊ぶだけではなく、部屋の床やいすを磨いてくれたり、お昼寝の寝かしつけや、おもちゃの消毒まで、たくさんのお手伝いをしてくれました。ほとんどが卒園児ということもあり、お兄さんお姉さんぶりを発揮しながら“後輩たち”の面倒を本当によく見てくれました。3歳児の男の子に紙ヒコーキの折り方を教え、『お兄さんに教えてもらって自分で折れた!!』とヒコーキを飛ばす姿はとても微笑ましい光景でした。

『懐かしいなー』『ホールってこんなに小さかったっけ』などの言葉に思わず『あなたたちが大きくなったんだよ』と伝えながら、同じくらいになった背丈の子どもたちを、とても愛おしく感じました。



小さな子どもたちに優しく接している姿を見ていると、このような体験がどちらの子どもたちにとってみても、とても大切な事だと再認識しています。

子どもの頃から誰かの役に立つことで喜びを感じる体験は、どんな勉強よりも必要な事かもしれませんね。小学生たちが『来年もまた来ます!』と、すがすがしい笑顔で帰る姿を、毎回名残惜しく見送っていました。送り出してくださったご家族の皆さまにも感謝申し上げます。小学生たちを憧れの眼差しで見ていたオリーブの子どもたち。いつか憧れられる側になるという、この素敵な連鎖がずっと続いていきますように願います。

地球レベルで大きな変化が起こっている今、私たち大人は“本当に大切な事”を、未来の希望である子どもたちに残していかななくてはならないと、心から感じています。

まだまだ厳しい残暑が続きますが、どんな時も変わらない子どもたちの笑顔に囲まれ過ごしている事に感謝をして、当たり前の日々を大切にしていきたいと思えます。



オリーブライブについてのお知らせ

10月5日(土)に予定しております**オリーブライブ**(運動会)は、**有明小学校の体育館**で開催いたします。9:00~12:00 の午前中で終了いたします。出欠のアンケートはコドモンにて配信いたします。詳細はまた後日お伝えいたします。